



## 広尾町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年カーボンニュートラルを目指して～

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動の影響により、猛暑や豪雨といった異常気象が頻発し、我が国においても集中豪雨や台風等による自然災害が増加しています。温暖化が進むことで、気温・海水温の上昇や降水量の増加、これらに起因した自然環境や生態系への影響等が懸念されています。本町においても、漁業、農業といった第一次産業を中心に大きな影響を受けており、その対策は喫緊の課題となっています。

地球温暖化は二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の増加が最大の原因と言われています。政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体でゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を掲げ、北海道においても再生可能エネルギーや森林資源などの地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を推進するなど、国を挙げて脱炭素化社会への取組が進められています。

本町では、これまでも豊かな森林資源を生かしたJクレジットの取組や公共施設への太陽光発電設備の設置、公用車への電気自動車の導入等に取り組んでまいりましたが、一人ひとりが二酸化炭素の削減に取り組むことや再生可能エネルギーの導入、二酸化炭素の吸収源となる森林資源の育成と活用、省エネルギーの取組みなどについて、町民、事業者、行政が一体となって進めていくことが必要です。

HIROO SANTALAND SINCE 1984

50年後、100年後もこの美しい自然豊かな広尾町を未来へ継承していくため、2050年までに広尾町の温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和6年6月24日

北海道広尾町長 田中 靖章